

令和5年度（2023年度）第4回川口中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和5年（2023年）10月14日（土）9:30～12:00
場所	川口中学校 東校舎1階 被服室
出席者	参加者：荒井、荒木、大島、久保、佐藤、高野、田倉、内藤（佳）、内藤（妙）、中尾、中村、平井、前川、安田、山口 高齢者あんしん相談センター川口：乙幡、小林、太田 高齢者あんしん相談センター恩方：長内 川口中学校校長：鷺尾 青少年若者課（児童館）：井垣 地域づくり担当：伊東、興柁、松下、和田
配布資料	・ 資料1_前回の振り返りと今回の検討内容について ・ 資料2_活動資金の活用の検討について ・ 資料3_活動団体（地域づくり認定団体）の組織の形について ・ 資料4_活動団体（地域づくり認定団体）の会則（案） ・ 資料5_活動団体の会則の検討 ワークシート ・ 参考資料_八王子市地域づくり認定団体の設立の届出に関する要綱（案）

1 開会

事務局より挨拶、資料確認。

新規参加者2名（大島氏、佐藤氏）をご紹介し、それぞれご挨拶をいただいた。

2 前回の振り返り

資料1を用いて、事務局から前回の推進会議の内容の振り返りを行った。

〈説明内容〉

- ・ 前回の推進会議では、今年度推進会議で何をしたいこうとしているのかということ、そして、その中でも地域の課題に対応していくための体制づくりを行うことを優先に取り組んでいくことを改めて確認した。
- ・ 今年度の目標を「推進会議の取組をもとに活動できる組織（＝地域づくり認定団体）を設立し、課題へしっかりと対応できる体制を構築すること」とし、前回は、「地域づくり認定団体制度があることで、部会で活動する中でみえてきた課題が解消できるか」というテーマで部会ごとに検討していただいた。
- ・ 住所の問題や、活動資金がないといったお金の問題に関しては、団体を設立することで解消できそうという意見が出た一方、効果的な活動にするにはどうするのか、活動の人材を確保するにはどうしたらいいのかなど団体を設立するだけでは解消できない、今後引き続き議論が必要な問題も確認できた。また、団体を設立するにあたって、代表者や事務所の場所をどうするのかなどの問題があることを共有することができた。

3 活動団体（地域づくり認定団体）の設立に向けた部会ごとの検討

前回の振り返りを踏まえつつ、資料1を用いて、事務局から今回の検討テーマについて説明した。

〈説明内容〉

- ・ 前回の議論を踏まえたうえで、さらに活動団体の設立に向けて必要なことの検討を進めるため、資料1のP.3にある二つのテーマ（①活動団体に対する補助金があった場合の用途について、②活動団体の会則について）の検討を部会ごとに行う。
 - ・ ①について、市でも活動団体の活動を支援する補助金制度の検討をしており、仮にそのような制度ができた場合に、どのように活用できるか、資料2を用いて話し合っていたいただきたい。
 - ・ ②について、前回の検討内容や今回の検討テーマ①の議論を踏まえて、団体を設立するうえで必要になる組織のルール（会則）について、資料5を用いて話し合っていたいただきたい。
 - ・ 各テーマについて部会ごとに検討していただいた後、各部会から検討結果を発表していただく。
- 活動団体の組織の形について
資料3について事務局から以下のとおり説明。
- ・ 会則をつくる活動団体の組織の形については、役員会でも検討した結果、資料3のP.3にあるとおり、ひとつの活動団体の中に、現在の部会のようなグループを設置してプロジェクトに取り組んでいく形にしたい。
 - ・ 活動に際しては、団体内でプロジェクトが増えれば必要に応じてグループ（部会）をつくり、グループ（部会）同士で連携、協力していく。また、資金に関してはひとつの団体として団体全体で管理していく。そうすれば、マルシェでの収入を他のグループ（部会）の活動で使うこと等も可能になる。
- 活動団体の会則について
資料4及び資料5について事務局から以下のとおり説明。
- ・ 会則の前提として、資料3のP.1にあるとおり、この団体は設立した後、市に届け出るという流れになる。参考資料「八王子市地域づくり認定団体の届出に関する要綱（案）」の2条で届出の対象となる団体の要件を定めるので、団体の会則はこの要件を満たすために必要な内容を入れる必要がある。
 - ・ 今回は、資料5に記載している条項について検討してほしい。

〈意見〉

- ・ 補助金の話があったが、市内には様々な団体があり、補助金が交付されている。今後高齢化などにより市の財政状況が厳しくなっていくなかで、今交付されている補助金の統廃合など方向性もなく、新たな補助金を交付するといっても、財源は確保できず、活用方法を検討しても、結局活動に必要なお金は得られずに十分な活動ができないということにならないか。
 - ⇒ （市）市としても、ただ新たな補助金をつくって交付するというのではなく、現在、地域の様々な団体に交付されている補助金等を整理していくことは必要だと考えている。そういったことも見据えながら、まずは団体を安定的に運営するために必要な支援として補助金を検討している。
 - ⇒ （参加者）全体を見ることの必要性はあるが、川口はモデル地区でもあるので、まずは進めていくことを考え、参加者として補助金の活用に関して意見を出していくことも必要ではないか。
- ・ 八王子市地域づくり推進基本方針P.6（2）にも記載があるが、地域のコミュニティをこれまで主として支えてきた町会自治会が弱くなっているのであれば、新たな団体を作って活動

していくということよりも、町会自治会をどうするかを真剣に考える必要がある。

⇒（参加者）そういった内容は推進会議の中で議論していくべきことだと思う。ただ、これまで推進会議では地域の課題を話し合い、担い手不足などの課題を解消するための取組を行ってきているという経過があるので、まずはそういった取組を進めていくための話をしていこうということではないか。

←（参加者）それもわかるが、根本的な部分をきちんと話し合ってから進めていく必要があると思う。

⇒（参加者）市に対して要望を出すにしても、地域として「こうしたらいいのでは」といった具体案がなければ進められないと思う。

・ 推進会議のスタートは「20年後の八王子市をどうするか」という課題の検討だったが、検討の中で、今の課題が20年後の課題にもつながるのでは、という考え方でこれまで議論を進めてきた。ただ、町会を中心として地域をどうしていくのかということは、今後、活動と並行して推進会議の中でしっかり検討していく必要がある。

・ お金の話に関しては、必要なものを列挙して市側に伝えることで、市としても何にお金が必要なのかがわかる。具体的な話がなければ、市としてもお金はつけられないだろう。

⇒（市）補助金については、制度設計をしている段階なので、みなさんの意見をいただいて、制度設計に反映させていきたい。

〈検討結果〉

（1）活動団体に対する補助金があった場合の用途について

・ 地域防災部会

①部会の活動での活用方法

会場借上費や、事務所の賃借料、講師への謝金など。

②現在の部会以外での活用方法

会則の中で、地域防災部会に限らず資金活用できるように規定できれば。

③資金管理・運用方法

ハザードマップを作成する際にスポンサーを募れば収入も得られる。

地域防災部会は「半官半民」の考え方で取り組むことが重要であり、行政で担うべき部分と地域が負担する部分があることに留意する必要がある。

活動団体においては檜原や犬目も含めた地域で連携して活動していきたい。

・ マルシェ部会

①部会の活動での活用方法

マルシェ部会で活動していることをわかりやすくするためののぼりや横断幕、チラシやポスターのデザイン料、スタッフ用ジャンパー、そして傷害や損害賠償に係る保険料がまずは必要。

②現在の部会以外での活用方法

川口中学校校区地域づくり推進会議のホームページがあれば、各部会の活動を発信できる。

地域全体を活性化させるため、地域情報のマップなども作れたらいい。

③資金管理・運用方法

継続的に活動していくためには、出店料だけでなく、企業からの寄付金やクラウドファン

ディングなども必要。

また、様々な提出書類の作成など、活動団体の事務を専任で担う人が必要であり、有償にできれば地域の雇用創出にもつながる可能性がある。

(2) 活動団体の会則について

・ 地域防災部会

①名称

今後検討したい。

②事務所

メンバーが気軽に集まれる場所がいい。

③会員

橿原地区・犬目地区の方も参加できるようにしたい。そのため、資料4の第6条第1項第2号「居住」要件は削除したい。また、既存団体に所属していない個人の希望者も入会できるようにしたい。

④会費

現状、不要だと考える。

⑤役員

部会長の互選で団体の会長を決めたい。副会長はその他の部会長から選任する。他の役職は会長の推薦で決めていく。

・ マルシェ部会

①名称

「川口」が入っていた方がいいと思う。

②事務所

福德が住所を使わせてくれる可能性がある。

③会員

資料4の第6条のままでいいと思う。

④会費

携帯電話料金など、固定費を賄うために少額でも設定したほうがいい。

その他、会員の保険加入にも使える。会費の徴収にあたってはそのような説明をすれば理解を得やすいのでは。

⑤役員

会長は全体から総選挙で選任することで、中立の立場を保てるのではないかと。

また、監査役は役員ではなく、独立させる必要がある。

⇒ (市) 検討結果については、今後役員会での検討を行ったうえで、次回(12/9)推進会議で、皆さんに提示したい。

4 各部会の活動状況等の共有

(1) 地域防災部会

- ・ 9/28に部会を開催し、来年3/23にやまゆり館で町会合同防災訓練を開催することとした。参加者は、各町会から2名程度と消防団などの関係者。内容は、心肺蘇生(AED)や初期消火、

救助等に必要なロープの使い方を予定。時間は、9：30～11：30。

- ・ 推進会議参加者の皆さんも希望される方はぜひ参加してほしい。

(2) マルシェ部会

- ・ 11/4、5 にやまゆり館まつりと共催で川口マルシェを開催する。
- ・ 12/2、3 にはコピオ榎原で、クリスマスマーケットとして川口マルシェを開催する。
- ・ 12/2 に、榎原中学校で、榎原青少対主催で行われるスポーツフェスと連携し、スポーツフェスで実施するスタンプラリーの景品を川口マルシェで提供することで、双方のイベントの集客を狙いたい。また、榎原と一体となって活動を行っていくためのひとつの実績にもなると思う。そのため、「川口中学校区地域づくり推進会議」を、スポーツフェスのチラシに協力団体として記載するなど、推進会議として協力したいと考えているが、どうか？
⇒ 参加者の賛同により、「川口中学校区地域づくり推進会議」として榎原青少対主催のスポーツフェスに協力することとする。

5 その他

(1) あんしん相談センター川口及びはちまるサポート川口からのお知らせ

- ・ 「かわぐち こども食堂」を開催している。時間は11：30～14：00、第1土曜日は川口東部会館、第4土曜日ははちまるサポート川口で開催している。子ども無料、大人は300円。
- ・ 「おれんじカフェ川口」という認知症の方とその家族、地域住民や専門職、大人も子どもも誰でも参加できる場を毎月第2月曜日 10：00～11：30 に川口事務所2階の大会議室で設けている。皆さんのふれあいの場としたい。
- ・ 認知症ケアラズカフェわたぼうしと八王子市で主催する「いいまちサミット」を11/4 13：30～八王子市中央図書館で開催する。

(2) 川口中学校 鷲尾校長よりお知らせ

- ・ 来年度から川口中学校に特別支援学級ができる。通常学級や小学校の特別支援学級との計画的な交流・共同学習を行い、共生（インクルーシブ）の意識をもたせたいと考えている。今後も地域の方々には様々御協力いただくことがあると思うので、よろしく申し上げます。
- ・ この推進会議では、「地域の担い手不足」という課題が最初から上がっていた。中学校としても、生徒が地域の行事に参加することで支えてくれる人の存在を知れるので、そのようにして将来の担い手を育成していきたい思いがある。昨年度は川口の地域フォーラムで中学生が参加する機会もあった。今後、そういった機会があればまた参加させてもらいたい。中学生で協力できることがあれば言っていただきたい。
- ・ 今年の夏は、各町会で小中学生を見守るイベント（夏休みの宿題を行うイベントなど）を行っていただきありがとうございました。このようなイベントが、小中学生の町会参加への動機付けにもなるのではないかと思います。

6 閉会

今年度の推進会議は残り2回。次回は12/9、次々回は3/9。開催通知は1週間前までを目処に送付する。

以上